

商学部第二部商学科

人材養成および教育研究上の目的

商学部第二部商学科は、商学部の教育研究の理念に加えて、勤労学生やシニア層等の社会人学生等多様な学生を教育の対象とするとともに、リカレント教育や生涯教育の場を提供することを教育研究の理念とする。この理念に基づき、流通・金融、会計、経営、国際ビジネスにわたる商学の広範な内容について学ぶことを通して、経済社会と組織の中で直面させられる様々な問題について複眼的視点から理論的に考察することができるとともに、学習成果を生かして自らの夢や理想の実現に繋げる行動力を持った人材を養成することを目的とする。

三つのポリシー

❖ アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

商学部第二部商学科は、人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

1. モノ・お金・情報の流れや交通・保険等を現実から学び、これらに関する諸問題の解決能力を身につけることを目指す人
2. 企業の現状を会計的に把握するとともに、経営陣やステークホルダーに会計情報を提供するための実務に興味・関心を持っている人
3. 企業経営のメカニズムを学びつつ、マネジメントやリーダーシップ等の実践的能力を身につけることに強い意欲を持つ人
4. 経済とビジネスの国際化に関する理論と実務に興味・関心を持っている人
5. 働きながら商学を学びキャリアアップを目指す人

の入学を求めています。

❖ カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

商学部第二部商学科のカリキュラムは、年齢・境遇を異にする多様な学生のニーズに応えるために、昼間部の3学科で教えられている専門科目のほとんど全てを配置するとともに、学生の体系的学習に資するように、設置科目は流通・金融コース、会計コース、経営コース、国際ビジネスコースという4つの科目群に分けられています。学生は志望するキャリア・パスに合わせて2年次にコースを選択することにより1つの専門領域を体系的に履修することができると同時に、興味や関心に即して各コースの科目を自主的に選び組み合わせ履修することもできます。1年次には、大学生活に速やかに順応で





きるよう大学での学習方法の基本的知識を指導する「基礎ゼミナール」が設置されています。コースの選択は、1年次に設置されている各コースの入門科目「流通入門」、「金融入門」、「経営入門」、「簿記入門Ⅰ・Ⅱ」、「国際貿易入門」を受講した上で行われます。3・4年次には、各コースの内容をより深く掘り下げて学習することができるように、「商学ゼミナール」、「会計ゼミナール」、「経営ゼミナール」、「国際ビジネスゼミナール」が設置されています。

❖ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

商学部第二部商学科の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、共通教育・専門教育および関連教育科目からなる卒業要件単位総数124単位を修得し、次の能力・知識を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 流通・金融、経営、会計、国際ビジネスにわたる商学の専門的知識と実務能力を修得し、それらに基づいて経済社会と企業に関する問題を発見し分析する力
2. 双方向のコミュニケーションによって、実社会の中で、商学に関わる問題について意見や情報を交換することができる力
3. 社会の一員としての倫理観と公共心をもちながら、個人としての成長と幸福を職業や仕事を通じて追求できる力

